西日本支店長会

Branch

2020.5 No.449

「外輪山の芽吹き」 撮影：成清 平和（筑後市在住）

「上高場の大藤」 撮影：井上喜義（太宰府市在住）

西日本支店長会
Branch
2020.5
No.449

CONTENTS

02 例会Report① 最近の金融経済情勢について
日本銀行福岡支店長 宮下 俊郎（みやした としろう）氏

06 例会Report② 新型ウイルスは体温免疫力で!
眼からうろこの健康塾 長湯式重炭酸温浴健康法
一般社団法人重炭酸温浴健康法普及促進協会代表理事
ホットアルバム炭酸泉タブレット代表取締役社長 小星 重治（こぼし しげはる）氏

11 支店長会&パートナーズクラブ合同課外研修

12 西日本支店長会　関西OB会

13 連載　九州人奔る〈37〉 種子島 時堯（たねがしま ときたか）

14 会員異動 新人会員

最近の金融経済情勢について

日本銀行福岡支店長
宮下　俊郎 氏

西日本支店長会・パートナーズクラブ2月合同例会の講師は、日本銀行福岡支店長の宮下俊郎氏。今年1月時点における日銀の経済情勢判断を説明した後、九州・沖縄の経済動向と特徴点・留意点を解説。日銀の金融政策について述べた後、「現在の最大の懸念材料は新型コロナウイルス。注視していく必要がある」と語りました。

（講演日：2020年2月13日）

はじめに

足許の経済情勢と今年の展望についてお話します。正直、今年の展望は、非常に立てづらい状況になっています。お手元の資料の内容は年明けの米中貿易摩擦の緩和や、1月の日銀支店長会議までに集めた情報を基にまとめたものです。

資料を作っていた時も新型コロナウイルスが懸念されていたのですが、ここまでひどくなるとは思いませんでした。

金融経済動向

日銀は3カ月に1回、経済情勢判断を公表しており、直近は1月に公表しています。経済の現状は海外経済の減速や消費増税、自然災害などの影響から、輸出・生産や企業マインド面に弱めの動きがみられます。

これらの要因から10―12月の実質GDPは、マイナス成長になるのではないかとみられていますが、自然災害と消費増税の影響が大きいことから、マイナス成長となったとしても一時的なものに止まるとみられています。

先行きについては、緩やかな成長を続けるということが基本シナリオとなっています。ただし、リスク要因としては、米中貿易摩擦や緊迫化する中東情勢、英国のEU離脱（ブレグジット）の展開など海外経済の動向などが挙げられます。

実質GDPは13年以降、多少の振れはありますが、右肩上がりで増えており、前期比年率は18年10―12月から19年7―9月までの1年間は、潜在成長率を上回る経済成長が続いていました。

ただし、これまでとは成長パターンが変化してきており、国内経済の牽引役が輸出から最近は個人消費や設備投資と

いった内需中心にシフトしています。

製造業をみると、ＩＴ関連財、資本財、自動車の中で、ＩＴ関連財については、足許の需要が戻ってきているほか、生産稼働率が上昇するなど、持ち直しています。他方、資本財は、20年にかけて増加しているほか、自動車は、昨年後半に需要が落ちましたが、20年以降は、緩やかに持ち直していく見通しです。ただし、いずれもＩＴ関連財と比較すると、先行きの不確実性が高い状況にあります。

非製造業をみると、グローバルサービス業の指数が山谷はありますが、常に50以上で推移しており、業況としては良い状況が続いています。その背景には、消費者コンフィデンスが高水準を維持していることがあります。好調な消費が非製造業の業況の良さの主因です。人手不足もあって賃金が上昇していることが好調な消費につながっています。

九州・沖縄の経済情勢

日銀福岡支店では、九州・沖縄の経済情勢についてほぼ毎月公表しています。基調は全国とほぼ同様で個人消費、設備投資が全体を牽引していますが、輸出と生産は、弱めの動きとなっています。

３カ月に１回公表する短観をみると、業況判断ＤＩが18年の前半あたりから低下傾向となっています。製造業と非製造業を比較すると、製造業の落ち方が著しい一方、非製造業は落ちてきていますが、２桁の水準を維持しており、非製造業が景気を下支えしています。

19年12月短観では、製造業は４ポイント悪化し、マイナス２となりましたが、マイナスとなったのは２０１３年６月以来、約６年ぶりです。要因は、九州・沖縄の生産の約５割を占めるはん用・生産用・業務用機械、電気機械、輸送用機械の主力３業種が悪化したことによるものです。

ただし、先行きは電気機械と輸送用機械が改善していますが、はん用・生産用・業務用機械は、回復にもうしばらく時間がかかる見通しです。他方、食料品や金属製品といった内需関連業種は、改善しています。

非製造業も４ポイント悪化しましたが、主因は消費税率の引き上げです。

日銀は全国を９地区に分けて業況判断ＤＩを集計しており、九州・沖縄地区は全産業で４ポイント悪化し、「良い」超がこれまで維持してきた２桁から１桁に低下しました。ただし、悪化幅や水準を他地域と比べると、九州・沖縄は明らかに優位になっています。

その背景には、製造業において、付加価値の高い製品を生産し、鉱工業生産指数が比較的高い水準を維持しているほか、個人消費の影響を受けて、サービス業などの非製造業が比較的良好となっていることがあります。

鉱工業生産指数をみると、九州はこのところ全国を上回る水準となっています。全国ではこの半年で生産水準が落ちているのに対し、九州は、落ち方が比較的小さくなっています。

個人消費をみると、販売額はプラスで推移していましたが、直近は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動からマイナスとなった後、昨年11月には前年並みにまで戻りました。12月は、天候要因や平成の天皇誕生日の休日が無くなったことなどから、百貨店売上高を中心にマイナスとなっていますが、個人消費は総じて堅調とみています。

消費増税の影響をみると、百貨店は駆け込みの山は予想通り低くなった一方、谷は天

候要因などから予想比大きくなっています。他方、スーパーは消費税率が据え置かれた食料品が主力ということもあり、前年並みに戻っています。

九州・沖縄経済の方向

以上を踏まえ、今年の九州・沖縄経済の特徴点・留意点をお話します。

設備投資の動向

19年12月短観における19年度（計画）の全産業の設備投資額は、能力増強投資などから前年度比19・5％増加しています。これまでは機械投資が主流でしたが、最近の投資で顕著なのは、ソフトウエア投資や研究開発投資など、機械投資以外のウエートが高まっていることです。

すなわち、投資のソフト化とIT化により、将来の競争力の強化、あるいは省力化を図っていく動きが広がってきています。さらに能力増強などの投資も単純な増産化ではなく、省力化や効率化により生産性を上げていこうとする案件が出てきています。

企業の成長力や競争力を強化していくために、投資がかなりのウエートで行われているとすれば、今年で終わるものではなく、来年以降も続いていくと予測できます。

九州・沖縄についても同様の動きとなっており、非製造業の建設、小売、宿泊・飲食サービスといった人手不足の度合いが大きいといわれる業種で、ソフトウエア投資が増えてきています。九州・沖縄は、一昨年までは非製造業のソフトウエア投資はあまり増えていませんでしたが、昨年ははっきりと右肩上がりになっています。九州の非製造業も、IT投資を増やして業務改善を図り、生産性を上げていく動きが出てきています。

個人消費の動向

個人消費については、消費者マインドが右肩下がりとなっていることが懸念材料であり、これが今後どう推移するかについては賃金の動向をフォローすることが重要です。

賃金については各社が給与制度の見直しを行っており、中高年層において、給与が抑えられる中で、消費者マインドが低下しています。

消費者マインドの改善には、賃金が上がることが重要ですが、福岡県は規模にかかわらず、ここ数年賃金が上昇しています。当地で特徴的なのは比較的規模が小さい300人未満の企業の賃上げ率が、規模が大きい300人以上の企業を上回っており、全国と異なる動きとなっています。人手不足によりやむを得ずという理由もあるでしょうが、いずれにしても賃上げは消費にとってはプラスに働きます。

また、賞与についても振れはありますが、前年比プラスで推移しており、これらが個人消費の追い風になっています。

インバウンド需要

インバウンド客は大幅に減少しており、特に減少幅が大きい韓国は、前年比3割から4割減少しています。また、訪日外国人の延べ宿泊者数をみると、九州はこの1年くらい伸びが緩やかになっており、滞在日数を増やすなどの取り組みが必要かもしれません。

福岡に限らず、近隣の大分、熊本、佐賀などへの訪日外国人客が増えており、オール九州で取り組みを評価していくことが必要です。

訪日外国人が減る中で使うお金も減っているのではないかという観測もありますが、訪日外国人の旅行消費総額は前年比微減に止まっています。

その背景には、クルーズ船の乗客が減少しながらも平均消費単価が増えていることなどがあります。

九州には、お金を使ってもらうコンテンツがあり、一時期は高級時計などが売れましたが、そういった動きが沈静化する中で、平均消費単価が増えているのはすごいことです。こういった動きを地道に続けることが、インバウンド消費の拡大に資するのでしょう。

不動産の動向

新設住宅着工戸数をみると、貸家がこの1年減少しており、全体としても減少が続いています。マンションは、販売価格が上がっていることと、駅から近いなどの好条件の物件が減っていることから、この1年在庫が増えています。

オフィスに関しては、福岡では需給が逼迫していることから、空室率が低下しています。

地価は、住宅地も商業地も上昇していますが、特に商業地は土地の利用価値によって、上げ幅が大きく異なっています。局所的には大きく上昇してる地点がみられます。

金融政策

日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を金融政策として行っており、消費者物価上昇率2％を早期に実現することを目指しています。

金融政策の基本的な考え方は、金利を引き下げて需要を喚起し、需要が供給を上回る状況を作り出して経済を活性化させることです。それによって物価が上がっていくことを狙っています。

経済活性化のためには、名目金利から予想物価上昇率を差し引いた実質金利を引き下げることが重要です。例えば名目金利が2％、予想物価上昇率が1％であれば、実質金利は1％です。

日銀としては、実質金利を引き下げ、経済を活性化させることにより、物価を上昇させようとしています。

実質金利を引き下げるためには、名目金利を引き下げ、予想物価上昇率を引き上げることが必要です。名目金利の引き下げは、イールドカーブ・コントロールにより、短期政策金利をマイナス0・1％に設定しているほか、10年物の長期国債の金利を、0％程度になるように長期国債を購入しています。

予想物価上昇率を引き上げる点については、これまでにいろいろな取り組みをした中で、時間がかかることが分かりました。

そうした中で日銀は、政策金利の先行きの指針として、政策金利は現在の長短金利の水準またはそれを下回る水準で推移することを公表しています。お金を借りる立場からすれば、当面金利上昇は心配しなくていいということになります。

これらの政策によって、物価安定の目標である消費者物価上昇率2％の早期実現を目指しています。

終わりに

現在、最大の懸念材料は新型コロナウイルスです。足許ではすでに具体的な影響が出てきていますが、どの程度影響が拡大するのか心配しています。日本ではオリンピック、パラリンピックを控えています。被害がこれ以上拡大しないことを祈念して、本日の話を終わります。

宮下（みやした）　俊郎（としろう）

1964年、埼玉県生まれ。88年、早稲田大学法学部卒業後、日本銀行に入行。2012年、青森支店長。14年、大阪支店長副支店長。17年、金融機構局上席考査役。18年、福岡支店長。

一般社団法人重炭酸温浴健康法
普及促進協会代表理事
ホットアルバム炭酸泉タブレット
代表取締役社長
小星　重治 氏

新型ウイルスは体温免疫力で! 眼からうろこの健康塾 長湯式重炭酸温浴健康法

西日本支店長会3月例会の講師は小星重治氏。社会への恩返しは医療費の削減ということで中性重炭酸温浴法の開発に成功した小星氏が、「新型ウイルスは体温免疫力で!　眼からうろこの健康塾 長湯式重炭酸温浴健康法」の演題で講演。免疫の機能を十分に働かせるには体温を36・5度以上にすることが重要と語りました。（講演日:2020年3月6日）

体温がものすごく大事

健康であるためには「免疫が大事」ですが、今の日本人で十分な免疫が発揮できている人がどれだけいるかというと心配です。なぜなら日本人特有の冷えという問題があるからです。特に高齢者は毛細血管が3割もゴースト化して血流が低下し、体が冷えていますから老化も加わり免疫がより低くなっており心配です。そういう事情から、新型コロナウイルスによる高齢者の重症化が問題になっているのです。

本日は「目からウロコの健康術」ということでお話をします。私と新潟大学の名誉教授だった故安保徹先生の研究は、自律神経からのアプローチで西洋医学とは少し違う考え方です。

「免疫」がちゃんと働くには、「体温がものすごく大事だ」ということを説明します。安保先生の専攻は免疫学でした。「風邪を引いたら熱が出て、免疫が働いてくれるから病気が治る」が口癖で、だから私は、孫にも「手洗いやうがいはするな。小さいうちに、熱を出して、抵抗力をつけろ」と今までは言ってきましたが、今回のコロナウイルスではそうはいきません。手洗いはとても重要になってしまいました。

エイズ、サーズ、マーズ、ジカ熱、新型インフル、新型コロナウイルス。さまざまな感染症が定期的に発生しています。これからも定期的にこういう脅威は襲ってくるはずです。細菌には抗生物質が効きますが、ウイルスは細胞を持たずわれわれの細胞に入り込んで増殖するので抗生物質が効きません。自己免疫力以外に治療法はないのです。新型コロナウイルスについても、ウイルス抗体ワクチンが

出来れば話は別ですが、現段階では病院に行っても肺炎の苦しさを人工呼吸器などで緩和する以外根本的な治療はないので、重症化させない自己免疫力が重要になってきます。

恩返しは医療費の削減

私はコニカに42年、62歳で顧問を辞めるまで写真の研究をしていました。1999(平成11)年、55歳のときに紫綬褒章を受章し、その折、天皇陛下にお言葉をいただき、この時の感激が契機となり、定年後は私財をなげうっても写真技術で社会に恩返しをしようと決意。何をするかと考えたときに、医療費の削減だと思ったのです。家族が、がんや糖尿病、心筋梗塞、脳梗塞、そういう難病になったら悲劇です。これを無くしたいと思いました。

今、企業には健康経営の推進が求められています。栄養、サプリ、運動、禁煙などの取り組みがメインで行われていますが、医療費は一向に下がらず社員は誰も健康になっているとは言えません。ストレスチェックや働き方改革などいろんな問題も未解決です。

新型コロナウイルスへの感染が世界中に広まっています。このウイルスに対処できる薬はまだありません。自分の体の免疫力を高めて、感染しても増殖させず発症しない免疫力が大事なのです。今回のコロナウイルスが終息したとしても、これからも10年単位で新しい脅威がやってくるでしょう。そういった意味からも高い免疫力をつけられるような健康経営施策が重要になってくると思います。

私が若いときは、高血圧の基準は180以上でした。そして血圧は年齢プラス90と言われていました。私の場合、76歳ですから適正な血圧は160でないと心臓から上の脳へ充分な血流を上げられないのです。高齢者は必要だから血圧が上がるのです。キリンの血圧は250。心臓から頭までは2㍍近くもあり、ここに血液を届けなければならないからです。

西洋医学は薬で症状を取るが、病気の根本原因は取れない対症療法です。血圧がなぜ高くなるか。必要だから高くなるのです。降圧剤の多くは副作用が大きく高齢者には害が大きい薬です。若い方の高血圧は問題ですが、高齢者が無理に若い方の数値に合わせて薬で血圧を合わせる必要はないと思います。

ドイツでは歴史上の温泉治療の効果をエビデンスとして認めており、健康保険で温泉療法が受けられます。多くの病気の治療に温泉療法が使われているのです。

体がいかに温まるかが、重要で健康のバロメーターになり活力となります。活力があるとやる気が出ます。医学部に入ったら最初に学ぶヒポクラテスの誓いがあります。「人は自然から遠ざかれば病気に近づく」。ヒポクラテスは2500年前の古代ギリシャの医者。自然しかないような時代に、こういうことを言っていたのです。薬はむやみやたらに処方しないとも言っています。自然治癒力、免疫力こそ真に病を治すものであるとも。

都会から離れた秘境のような場所にある大分県竹田市の長湯温泉はドイツのバート・クロツィンゲンなどの自然炭酸泉の街と姉妹都市として提携して30年になります。ドイツの小さな温泉の町なのに1500ものベッドのある病院施設があり、医者も80人ほどもいて、あらゆる治療が健康保険で行われていました。ドイツは日本と同じで温泉療法に明確な医学的なエビ

デンスがあるわけではないのですが、歴史上、温泉で多くの病気を治してきたことがエビデンスとなって医学として認められているのです。ヨーロッパの多くの国では薬や手術を使わないほど医療ポイントが10倍、12倍もつき、医者も儲かるようになっており、自然療法や予防に税金が使われるような医療改革が行われているのです。

ヨーロッパの温泉は水着で何時間も連続して入るプールが多く、炭酸泉の特徴になっています。日本の温泉は、裸で入るため家族と一緒に入れず5分か10分入って出て休憩室でカラオケをやったりして過ごすのが多く、温泉の文化も全く違います。

感染を防ぐのは免疫力

新型コロナウイルスにも体は基本的には自己免疫が戦います。死亡率は高齢者が圧倒的に高くなっています。政府はこういう状態を抑えるためにあらゆる集会を制限して、流行のピークをなだらかにしようとしています。いろんな感染症が流行ったときに集団や集会をカットした場合に成功例が非常に多いためです。そうしないと韓国のように、大きなクラスターが大感染を引き起こしてしまうのです。

感染を緩くすることはできても絶対に感染を防ぐことはできません。ウイルスに対抗するのに大事なのは免疫力です。感染しても症状が出ない人は免疫力が高いのです。大事な免疫を働かせるためには、平熱の体温が36・5度以上が必要です。体温が36・5度以上ないと、最初に感染したときに、ウイルスを駆逐できません。平熱で戦う自然免疫ナチュラルキラー（NK）細胞が働くために36・5度以上の体温が必要となるのです。その後発症して高熱で戦うのはキラーT細胞などの獲得免疫と呼ばれる免疫記憶細胞です。

ストレスが強い方は交感神経が優位となり、血流が悪く、体温が低くなりがちです。

ストレス過多のときは、昼間の神経である交感神経で免疫は顆粒球が働きます。昼間は狩りでけがをしたときなどに顆粒球がばい菌を殺菌して膿になる仕組みです。夜は副交感神経で血流を上げ体温を上げて細胞を修復したり、ウイルスをやっつけたりするリンパ球が主体に働きます。そのために体温が高いことが必要です。

気道から胃に流された細菌やウイルスは酸性の胃液で殺菌できますが、気道から肺に入ってしまうと免疫が働けなければ増殖し発症肺炎に進んでしまいます。

増殖を始めたら、ロケット軍的な免疫が熱で生み出され働きます。まず樹状細胞が「あいつは敵だ」というウイルス認識情報をヘルパーT細胞に伝え、敵を識別してからキラーT細胞が送り出され数日掛けて駆逐し退治癒するという仕組みで、治れば免疫抗体ができ再度感染することを防ぐのです。高い免疫力は増殖発熱前に平熱で退治するために平熱の高さが重要になるのです。

ところが、戦後の日本人の体温は1度も下がってしまったのです。体温が低いと深い眠りが得られず、睡眠時の成長ホルモンも出にくくなり、ストレスとかがんを防いでいる酵素も産生できず働けません。このため激務のうえ低体温では、がんや糖尿病などのあらゆる病気の原因になってしまうのです。

ウイルスに対抗できる免疫は、がんに対抗する免疫とも全く同じです。低体温では勝てません。１９３１年に

ノーベル賞を受賞したワールブルクは、ミトコンドリアの発見者ですが、がん細胞が分裂するときに酸素を使わないことを発見しています。

この発見に早く気が付けば、がんは酸素を使わない解糖系のエンジン主体の冷えからくる古い細胞の先祖帰りだということが発見されていたはずですが、ストレスがいつも高い人は、いつも酸素を使わない低体温の解糖系エンジン主体で生活している方で、体温が低く、がんにもなりやすい方の特徴となってしまいます。解糖系エンジンは100メートルを無呼吸で突っ走れる無酸素エンジンで、糖だけを分解する瞬発力だけの狩りの時のエンジンです。

もう一方は、糖はもちろん、たんぱく質や脂も燃やすのがミトコンドリアエンジンで、酸素を使い体も温めるエンジンです。

人間の体内で心臓と脾臓は0・5度高いためにがんになりません、小腸も毎日3食を消化するのに蠕動運動でいつも忙しく温かいため滅多にがんになることはありません。どこがんになるかというと、体からちょっと外にでた冷える部位である乳房、前立腺、大腸、子宮など冷えた臓器です。低体温がいかに体に脆弱性を与えるかがお分かりいただけますでしょうか。

42度以上の風呂はストレス

戦後、日本人の体が冷えてしまった原因は、1975年くらいに高性能な合成化学洗剤が出現し、肌の脂を抜きセラミド構造を崩して角質にクラックを開け肌の天然バリアを破壊し、そこから水道水の残留塩素や石鹸シャンプーの殺菌剤などの化学物質が吸収され皮下脂肪に蓄積。交感神経を優位にして、終日体にストレスを与え冷えを生み出すようになりました。口から入る経口毒は肝臓などで解毒できるのですが、肌から入る化学物質は皮下脂肪に蓄積しサイレントストレスとして冷えを生み続けるようです。

冷え性の論文は日本にしかないことから冷えは日本特有の社会疫学と言えます。

戦後の日本の川はゴミ捨て場で牛や馬の尿の捨て場でもありました。とんでもなく不潔ということで、GHQは「水道の塩素濃度を0・1ppm以上にせよ」と指示し1953（昭和28）年に水道法で定めてしまいました。世界の水道水の塩素濃度の法律はほとんどが0・1ppm以下です。そのまま飲める世界一安全な水ではありますが、以上という法律では上限がなくいくら入れてもよいことになるおかしな法律でもあります。

国際水連の競技プールは塩素が禁止されオゾンが使われており、米国や欧州の国では水道水でも塩素を殺菌剤として使う国が減ってきているだけでなく、メジャーなメディアが入浴時の洗い過ぎ、シャンプーのし過ぎは、皮膚から化学物質が入って健康を害する危険があると大々的に警告。殺菌剤入りの化学合成洗剤を使うのは1カ月に1、2回にしましょうと呼びかけ、EUでは2015年、米国のFDAは2016年、19品目の殺菌剤入りの家庭用石鹸シャンプーなど全商品を販売禁止にしてしまいました。そのため、欧米ではドラッグストアにはオーガニック製品しか置いてなく、知識階級は、ノープー、ノーシャンプーがシャワー文化にもなっています。

42度以上のお風呂も自動的に交感神経にスイッチが入り、ストレスとなります、これも日本人が冷える原因となります。

日本では1948（昭和23）年制定の温泉法で、炭酸ガスが何ppm以上なければ炭酸泉と呼んではいけないなどと決めてしまったことが大きな間違いを生みだしました。炭酸ガスは酸性でしか存在しません。血液のペーハーは中性で7・35だから、酸性の炭酸ガスは血液には溶解できず、細胞で発生する炭酸ガスは同時に生成する炭酸脱水酵素がこれを中和して重炭酸イオンとして中性ペーハーの血液に溶解させ肺に運んで呼気として炭酸ガスに変えて体外へ排出します。重炭酸泉の風呂では血液に溶解した重炭酸イオンを肺に運んで酸素とのバランスを整えようと血管を拡張し血流を上げてくれる成分となりますので体が温まるというわけです。ですから体が温まるのは酸性の炭酸ガスでは難しく、炭酸ガス中に1割程度存在する重炭酸イオンの効果なのではないかと思われます。

健康のインフラは毛細血管の血流であり体温です。老化すると夜、冷えて寝られなくなり頻尿にもなりますが、重炭酸温浴では体が温まり睡眠が改善し頻尿なども解決します。年を取ると若い人に比べ毛細血管が4割ほどもゴースト化して消えてしまい血流が低下し、免疫も低下しますが、重炭酸温浴法で温まれば免疫も回復します。またゴースト化した血管を蘇らせる効果もあり、一酸化窒素（NO）が血管内皮に分泌し毛細血管を蘇らせ体温が上がり免疫力が向上するからです。ですからドイツでは、中性の重炭酸泉を心臓の湯とか若返りの湯とかと呼ばれる所以なのです。

低体温は寝つきが悪い

なぜ体温が上がると熟睡できるようになるかというと、睡眠は寝込むとき体温を下げて寝込みます。最初の90分間のノンレム睡眠では体温を1度近く下げて寝ますので、体温が低い人は下げ幅が取れないので寝込めないし、寝てもすぐに目が覚めてしまうのです。赤ちゃんが眠くなると体が温かくなりますが、あれは深部体温を下げるために体表面から熱を放散して冷やしているのです。最初のノンレム睡眠の90分でぐっすり深く寝ると、成長ホルモンがしっかり出て、免疫が上がるだけでなく、あらゆる細胞の修復作業が進み寝起きもすっきり調子がいいのはこのためです。

多くの高齢の方が最後までぴんぴんきらりと元気に過ごしてもらえたら、そういう社会になってくれたらと常に願っております。私も後期高齢者ですが私の後輩が後期高齢になるとおよそ800万人もの大集団になります。この方々が医療費を使いだすと国家財政は極めて大変なことになります。体に鞭打って医療費削減という目標にチャレンジしています。皆さまの協力もいただきながらこの目標を実現していきたいと思っています。

新型コロナウイルスが蔓延しても高齢者の免疫が高ければ重症化を防げ医療破綻も起こらずインフルエンザ並みの状況がつくれます。そうなれば経済破綻も救えるのになと願っています。

小星（こぼし）　重治（しげはる）

コニカ（現コニカミノルタ）在籍時には約680件の特許を出願。科学技術庁長官賞（1998年）、紫綬褒章（1999年）など表彰多数。2009年に世界で初めて重曹とクエン酸の錠剤化に成功し、薬用ホットタブなどを開発。

支店長会 &パートナーズクラブ 合同課外研修

去る2月18日、支店長会とパートナーズクラブの合同課外研修を実施、34名が参加しました。

一行はまず、西日本鉄道㈱が運行する観光列車「レールキッチンチクゴ」に乗車し柳川を目指しました。八女の竹を用いた竹編みの天井やいぶし銀が美しい城島瓦など、沿線の地域資源をインテリアに活用した車内は、筑後地方の文化や暮らしが感じられます。時速50キロでゆっくりと進む車窓から目にする筑後平野ののどかな田園風景や、沿線の保育園児たちが手を振る姿に心が和まされます。ランチコースはあまおう苺を使ったウェルカムドリンクでスタート。キッチン車両の窯で焼いた熱々のピザをはじめ、産地や旬にこだわった沿線地域の食材を使った料理はどれも美味しく、一時停車時の車掌のサックス演奏サービスが料理に花を添えてくれます。こうした演出に日常の激務をしばし忘れ、皆さんで和気あいあい盛り上がりました。

柳川で列車を乗り換え、一行は梅香る太宰府天満宮へ。天満宮では、権禰宜の真木智也氏に参道から境内を案内いただきながら天満宮ゆかりの史跡や歴史についてのお話を聞き、参加者全員で特別参拝を行ないました。その後、権宮司の味酒安則氏に『新元号「令和」と古代太宰府』というテーマでご講話をいただいて研修は終了。それぞれ帰宅の途に就きました。

西日本支店長会　関西OB会開催

「西日本支店長会関西ＯＢ会」が、２月７日（金）、大阪市のホテルグランビア大阪で開催され、ＯＢ会員７名、西日本新聞社４名の合計11名が参加しました。昨年から関西ＯＢ会の会長に就任した北川聡一会長（在福時代㈱神戸製鋼所九州支店長、現㈱文化工学研究所専務取締役）の挨拶に始まり、参加者それぞれの近況報告や福岡勤務時代の思い出話に花が咲き、和気あいあいの２時間を過ごしました。

西日本支店長会　関西OB会　出席者

氏 名	現職会社名	支店名・部署	役 職 名	現役会員時社名	在職期間
石坂　芳人	アズビル㈱	ビルシステムカンパニー関西支社	副支社長	アズビル㈱ビルシステムカンパニー九州支店	H25.10 ～ H30.3
筴島　亮	㈱山下設計	関西支社	取締役専務執行役員西日本本社長兼関西支社長	㈱山下設計　九州支社	H25.10 ～ R1.10
北川　聡一	㈱文化工学研究所		専務取締役	㈱神戸製鋼所　九州支店	H23.4 ～ H26.3
久米　穂高	富士電機㈱		関西支社長	富士電機㈱　九州支社	H20.7 ～ H25.3
小南　雅彦	ＪＲ西日本不動産開発㈱		取締役 ビル事業部長	ＪＲ西日本不動産開発㈱福岡支社	H29.8 ～ R1.6
新村　剛	神鋼テクノ㈱		取締役	㈱神戸製鋼所　九州支店	H28.4 ～ H31.3
芳野　真弘	㈱神鋼環境ソリューション	総務部	総務部長	㈱神鋼環境ソリューション九州支社	H23.4 ～ H25.3
柴田　建哉	西日本新聞社		代表取締役社長		
中満　昭	西日本新聞社	大阪支社	支社長		
添田　弘幸	西日本新聞社	大阪支社メディアビジネス部	次長		
野口　喜久子	西日本新聞社	西日本会	事務局長		

九州人奔（はし）る 37

鉄砲伝来により国産銃を開発、
進化させた薩摩人

種子島時尭（たねがしまときたか）

（1528～1579）

種子島の最南端の門倉岬にある「鉄砲伝来紀功碑」

鉄砲が変えた日本の歴史
最初の国産鉄砲の製造

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」は明智光秀の物語だ。光秀は「鉄砲の名手だった」と言う。

鹿児島県の種子島から日本史を変える鉄砲が全国に伝わった。島の沖を流れる黒潮に乗って北上してきたポルトガル商人が乗った中国の明船が種子島南端に座礁（1543年・天文12年8月）し、難破した。島の当主・種子島時尭は「稀世の珍なり」と同船が持っていた鉄砲という新兵器を金2千両で買い入れ、銃の構造を学び取り、鉄砲の製造を八板金兵衛に命じた。

薩摩藩の一角を担う名門・種子島氏には領土争いや内紛はなく、緊急に新武器購入、製造の必要はなかったと思われるが、大枚を払って入手したのは西欧技術への好奇心、あるいは将来、必ず役立つ武器と思ったのか。

種子島が砂鉄の産地で、鉄製品への関心が抜きんでて強かったのは確かだ。島には刀剣にしても生活用具にしても、鉄製品は多く、たたら（製鉄）技術の蓄積があった。「鉄砲を作って見よ」と時尭が刀鍛冶・八板金兵衛に命じる。ただ一つ、銃の底を塞ぐ技術が分からない。苦闘の末、後に「種子島」と呼ばれる国産鉄砲を作り、量産体制も築いてしまった。座礁した船が去るときには、既に600丁の鉄砲が生産されていた。西欧技術の優れものに触れて、その価値を直感し理解して、習得、我がものにする。

その頃、紀州和歌山・根来寺から僧兵頭・津田監物が種子島に長期滞在していた。紀伊半島も黒潮に洗われ、種子島家とは海の道で深い交流関係にあった。根来寺もまた種子島を中継基地として明国などとの黒潮貿易を行っていたのだろう。津田監物は種子島から技術を学び、持ち帰って、堺の刀剣工に量産させた。根来衆は後に鉄砲製造集団として天下にその名をとどろかせる。火薬の原料となる硝石は日本にはなく、種子島氏、根来衆共に外国との海運に秀でていたからこそ、鉄砲は威力を発揮できた。堺の商人たちもやってきた。

信長が鉄砲伝来からわずか30年後、大量の鉄砲を駆使、武田軍の騎馬武者隊を壊滅させた長篠の戦いを、知らぬ人はいないが、根来衆の鉄砲技術はそれにはるかに勝り、石山戦争では、信長自身も狙撃されている。その後、根来衆は秀吉の大攻勢にあって敗北した。鉄砲は日本の歴史を回転させた新技術であり、新兵器であった。その発信源が種子島にあった。

＝敬称略（久保平）

ゆかりの地

種子島総合開発センター（西之表市）には、弥生時代の鉄製の釣り針が展示され、この島が鉄製品の先進地で、その技術が鉄砲を受け入れ、直ちに製造を始めた背景を説明してくれる。

鉄砲を全国に広げた根来衆については、和歌山市を流れる紀ノ川の上流の岩出市にある「ねごろ歴史資料館」が詳しい。秀吉によって焼き払われた宗教都市や根来寺関連の歴史史料、真言密教にかかわる石仏、石碑などが保存展示されている。

会員異動（50音順）

株式会社 IHI
九州支社長
松澤 大雪氏
（新潟県出身）

大分県福岡事務所
所長
大海 靖治氏
（大分県出身）

キリンビール株式会社
福岡支社長
森久 一郎氏
（愛媛県出身）

大成温調株式会社
九州支店長
米倉 稔氏
（福岡県出身）

パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社
常務執行役員・九州社 社長
古賀 司郎氏
（福岡県出身）

三井不動産株式会社
九州支店長
尾崎 真一氏
（広島県出身）

モロゾフ株式会社
福岡支店長
熊谷 総一郎氏
（兵庫県出身）

株式会社アトリウム
福岡支店長
土田 陽市氏
（愛知県出身）

株式会社オカムラ
西日本支社長
古橋 雅樹氏
（神奈川県出身）

須賀工業株式会社
九州支店長
大石 昌巳氏
（静岡県出身）

東京海上日動火災保険株式会社
福岡支店長
神崎 聡氏
（東京都出身）

富士ゼロックス福岡株式会社
代表取締役社長
竹内 將人氏
（神奈川県出身）

三菱ケミカル株式会社
西日本支社 九州エリア長
津田 昌生氏
（千葉県出身）

株式会社安井建築設計事務所
九州事務所長
三好 裕司氏
（福岡県出身）

NTT データカスタマサービス株式会社
九州支社長
久保田 浩二氏
（静岡県出身）

オリックス株式会社
福岡支店長
岩田 佳氏
（大阪府出身）

積水ハウス株式会社
福岡マンション事業部 事業部長
竹下 盛人氏
（佐賀県出身）

日本航空株式会社
九州・山口地区支配人
平井 登氏
（香川県出身）

古河電気工業株式会社
九州支社長
石田 洋紀氏
（栃木県出身）

三菱地所リアルエステートサービス株式会社
九州支店長
岡本 禎彰氏
（和歌山県出身）

新入会員（50音順）

東光電気工事株式会社
九州支社長
野小生 克明氏（熊本県出身）
●所在地／福岡市中央区薬院 3-15-6
●電　話／ 092-522-2111

ナカ工業株式会社
福岡支店長
安藤 裕之氏（熊本県出身）
●所在地／福岡市博多区榎田 2-1-1
●電　話／ 092-452-8611

西日本新聞社

Branch 西日本支店長会

2020年5月 No.449

西日本支店長会事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内
TEL 092(711)5190 FAX 092(711)5199 e-mail:shitenchokai@nishinippon-np.jp